



Vol.6

2022年7月号

HRAI Bulletin

月刊グローバル人事情報誌

日本の元総理大臣であり、一般社団法人人事資格認定機構の理事安倍昭恵さんの配偶者であられる安倍晋三氏の突然のご訃報に、心から哀悼の意を表します。

安らかにご永眠されますよう心よりお祈りいたします。

I would like to express my deepest condolences on the sudden passing of Mr. Shinzo Abe, the former Prime Minister of Japan and beloved husband of Mrs. Akie Abe, Executive Board member of the Human Resources Accreditation Institute. I pray that his soul may rest in peace.

一般社団法人人事資格認定機構
代表理事 華園ふみ江

Human Resources Accreditation Institute
Fumie Hanazono, Chair of Executive Board



海外人事最新情報

毎月1回 HRAI 人事資格認定機構より、最新の海外人事情報・新コラム情報などをお届けします。

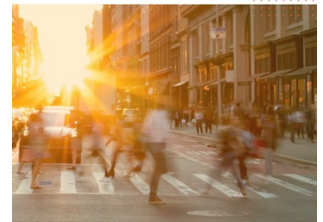
SHRM ホット・トピック

SHRM 職場の現状調査 2021-2022

SHRM では、アメリカにおいて、労働者と人事プロフェッショナルの大きな二つのグループ分けをして、職場の現状についての調査を行い、2021年のまとめと2022年の今後に向けての調査結果をレポートにして発表しています。今回より数回に渡りその内容をお伝えしていきます。

SHRM
State of the
Workplace
Study

2021-2022
shrm.org



2021年を振り返って：

米国の多くの組織でうまく対処できたと評価される行動とは

米国の人事プロフェッショナルと労働者は、組織におけるコロナ禍への対応が非常に良かったと評価しています。

2021年からの24の異なる職場行動の有効性の評価調査を行ったところ、人事プロフェッショナルと労働者の両方のグループで共通する最も効果的な職場行動3つがわかりました。

1. コロナ禍における課題にうまく対処した
2. 労働者の安全を確保した
3. 良好な健康管理プログラムを提供した

米国の多くの組織でうまく対処できていなかったとされる行動とは

一方で「採用」と「定着」という2つ(双子)の人財の課題に関しての組織の行動は不十分であったと評価されています。

米国の人事プロフェッショナルと労働者の間で視点こそ異なりましたが、組織で不足していた対応というのは、人財に関わる行動であったとされています。米国の人事プロフェッショナルと労働者の両方のリストの最下位付近には、次のものがありました。(組織で対応が十分でなかった職場行動)

1. 必要なスキルを持つ人財の発掘と採用
2. 優秀な人財の維持
3. 主要なポジションの後継者育成計画の作成

特に、米国の労働者による評価の最下位は、より効果的なピープルマネージャーの育成となっています。

これらの人財の問題に関して、リモート環境の組織は職場勤務の組織よりも1.5倍から2.5倍有効性の評価が高く出ています。



世界最大の人事コンフェレンス&EXPO

(<https://shrm.co/ywkn5u>)



6月にニューオーリンズで開催されました。

SHRM22のテーマは、CAUSE the EFFECT「結果を生み出す」

今、HRが一致団結しなければ「結果を生み出す」ことはできないとして、DE&I、人財獲得と維持、職場文化、メンタルヘルスの分野で専門家を招いてのセミナーやワークショップが多数開催されました。

会場には世界中から1万5千人が集い、2万人がオンラインで参加しました。

今月からコラムにてハイライトをお伝えしていきます。

HRAI 今月の最新コラム

「×ドライではない」

いま、アメリカの人事が最も大切にしている事とは。
SHRM 22 レポート（ニューオリンズより）2022年6月12日～15日
<https://hr-ai.org/new-column/220707/>

日本では、昨年に引き続き、今年も多く日本企業大手が導入を進める「ジョブ型」。そして10年ほど前から本格的に導入が行われている「成果主義」。言い換えると、アメリカ的手法であり、「アメリカ的になる＝ドライになる。」と日本では受けて止められていることは否めない事実であります。しかしながら、今SHRMが世界の人事プロフェッショナルに向けて提唱しているのは、全くドライとは逆の、言うなれば「ウェット」な人事の必要性です。



HRAI 今月のアクティビティ

7/21&22 SHRMエッセンシャルズ日本語プログラム

7/22&23 SHRM Essentialsバイリンガルプログラム

* 8月以降の講義についても受講お申し込み可能です。
年間の講義スケジュール、受講申し込みはこちらから
<https://hr-ai.org/>